

別表 救急看護師のクリニカルラダー
日本看護協会看護師のクリニカルラダーと救急看護実践例

定義	レベル		I	II	III	IV	V
	レベル毎の定義		基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
看護の核となる実践能力	ケアする力	【レベル毎の目標】	助言を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況（場）に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
		【JNA行動目標】	<input type="checkbox"/> 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる <input type="checkbox"/> 指導を受けながらケアの受け手に基本的援助ができる <input type="checkbox"/> 看護手順やガイドラインに沿って基本的看護技術を用いて看護援助が援助ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況に応じた援助ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性に合わせ、適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性をとらえ、看護実践に反映できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズにこたえるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> 幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見（看護および看護以外の分野）を動員し、ケアを実践・評価・追求できる <input type="checkbox"/> 複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
		【救急看護行動目標】	<input type="checkbox"/> 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる <input type="checkbox"/> 看護手順やガイドラインに沿って基本的看護技術を用いて看護援助ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手に異常を察知したときは、他者に伝えることができる <input type="checkbox"/> 指導を受けながらケアの受け手や状況（場・緊急性・重症度）に合わせて基本的援助ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況から回復や悪化への変化を予測することができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況（場・緊急性・重症度）を判断し初期対応をすることができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況（場・緊急性・重症度）に応じた援助ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況（場・緊急性・重症度）、個性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況（場・緊急性・重症度）から回復や悪化への変化を予測し、その予後への対応の優先度を判断できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況（場・緊急性・重症度）を判断し、適切なケアを選択し実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性をとらえ、看護実践に反映できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況（場・緊急性・重症性）から回復や悪化への変化を予測し、顕在的・潜在的ニーズを抽出したケアに工夫ができる	<input type="checkbox"/> 情報収集を繰り返し、ケアの受け手の状況（場・緊急性・重症度）から心身の危機的状況の変化を含む幅広い視野で回復や悪化への変化を判断することができる <input type="checkbox"/> 予防的介入を実践し評価することができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズにこたえるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性を考慮して根拠に基づき看護を実践できる <input type="checkbox"/> 幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的な看護実践と評価ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見（看護および看護以外の分野）を動員し、ケアを実践・評価・追及できる <input type="checkbox"/> 複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
	<実践例>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 指導を受けながらケアの受け手に対して手順に沿ったケアを実施する ■ 基本的看護技術については、新人研修ガイドラインにおける看護技術の到達目標を意識して実践する ■ ケアの受け手に対して基本的生活行動の援助を行う。ケアの受け手や周囲の人々のニーズや医療処置の状況によっては、指導を受けて実践する ■ ケアの受け手の異常を察知した際は、タイムリーにリーダーなどの他者に報告する ■ 緊急時・急変時には、対応の場において流れを把握し指示を受けながらメモをとる、バイタルサインを確認するなど、できることを探して実践する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 助言を受けながら体験したことや知識を活用し、ケアの受け手の状況から直近の変化を見越して行動する ■ 標準的な看護計画にケアの受け手や周囲の人々の状況を加味して計画を追加・変更し、自立して実践する。ケアの受け手や周囲の人々のニーズや医療処置の状況によっては支援を求める ■ ケアの受け手や周囲の人々の生理的機能の変化による生命危機や苦痛の増強から緊急性をとらえて実践する ■ 緊急時・急変時には指示されたケアを責任をもって実践する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ケアの受け手や周囲の人々に起こりうる事態から優先度や緊急性を判断し、チーム内で情報を共有する ■ ケアの受け手や周囲の人々の入院前の習慣などの個性を考慮し、主体性を尊重した計画を実践する ■ 複数のケアの受け手や周囲の人々のニーズを的確にとらえ、ケアの優先順位を判断し実践する ■ 緊急時・急変時には、その場の状況に合わせて役割をチームメンバーへ指示する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報収集を繰り返しながら患者の状況を的確に判断し、今後起こりうることを予測したうえで重症化を回避するケアを実践・評価する ■ ケアの受け手や周囲の人々の顕在的・潜在的ニーズにこたえるために幅広い選択肢からの提案やケアの実践ができる。たとえば、患者に対し疾患予後や治療による影響、患者の生活を考慮した適切なケアを提供・実践する ■ ケアの受け手や周囲の人々の状況や個性に適した根拠を駆使し、回復や安楽・安寧に向けたケアを実践する ■ ケアの受け手や周囲の人々のニーズをキャッチし、理解や意向の確認ができる場の設定を行う ■ 緊急時・急変時には、原因や今後の展開を予測しながらケアの受け手や周囲の人々へ対応する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ケアの受け手や周囲の人々の複雑なニーズに対応するため、あらゆる知見を用い、QOLや生活の可能性を広げるケアを考え実践する。たとえば、疾患の予後や治療の影響により、ケアの受け手や周囲の人々の意向に沿った生活が困難な状況にあっても、価値観、尊厳を尊重し可能性を広げるケアを提案する ■ ケアの受け手や周囲の人々がどのような複雑な背景や状況にあっても最適と考えられる個別的なケアを選択実践し、ニーズに則したものか、さらに効果的なケアはないか評価する ■ ケア開発のための努力を継続して行う ■ 緊急時・急変時には、複雑な病態の原因や展開を予測しながらケアの受け手や周囲の人々へ対応し、ケアを随時に評価し、修正や追加を提案する 	